

システム概要：

会場には、図のように Macコンピュータを 50 台設置します。各コンピュータは特別製のスタンドを用いて画面が上になるように設置します。また、マウスやキーボードは繋がず、内蔵マイクだけを入力装置として用います。そして、内蔵ディスプレイと内蔵スピーカーが出力装置となります。

各コンピュータからは電源ケーブルと Ethernet ケーブルを天井のバトンへと垂直に渡します。天井のバトン上には、電力を供給する電源タップと、Ethernet ネットワークを形成するハブを設置します。実際には 8ポートまたは 16ポートのハブを数個接続することによって、仮想的なひとつのハブとして使用します。

コンピュータは約 2メートルの間隔を開けて設置しており、ケーブルは床を這うことなく天井へ向かっているため、来場者はコンピュータの間を自由に歩き回ることができ、周囲を見回したり、ひとつのコンピュータを覗き込むことができるようになっていきます。

さらに、50台のコンピュータからは少し離して、ホスト・コンピュータを会場内に設置し、ホスト・コンピュータもネットワークに接続します。ホスト・コンピュータは各コンピュータへのファイル配布や動作調整のために用いるとともに、パフォーマンスにおけるコントローラとしても用います。

なお、コンピュータの数は変更可能であり、20台から 50台までの範囲で増減することができます。

参加作家：

カール・ストーン、大谷安宏、三輪眞弘、佐近田展康、赤松正行

設置面積：

18メートル × 12メートル

必要機材：

50台の Macコンピュータ、50ポートのイーサネット・ハブ、ケーブル類
および 1台のホストコンピュータ (PowerBook など)、イーサネット・ハブ追加 1ポート

クレジット：

制作：赤松正行
助手：南方祐紀、村上泰介
協賛：アップル・コンピュータ株式会社、ヤノ電器株式会社、有限会社マーズ、
サウンド&レコーディング・マガジン、日本マランツ株式会社
主催：ジーベック (下田展久、森信子)
提供：TOA

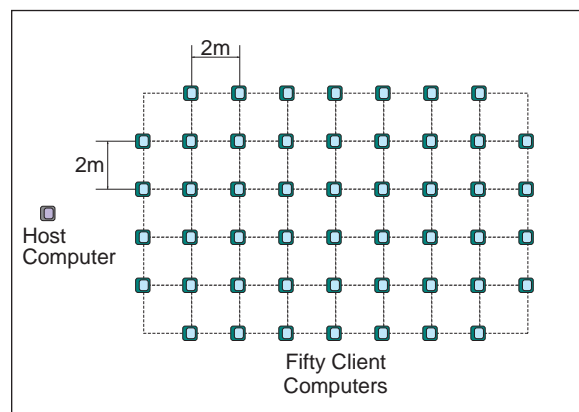


図 1 平面配置図

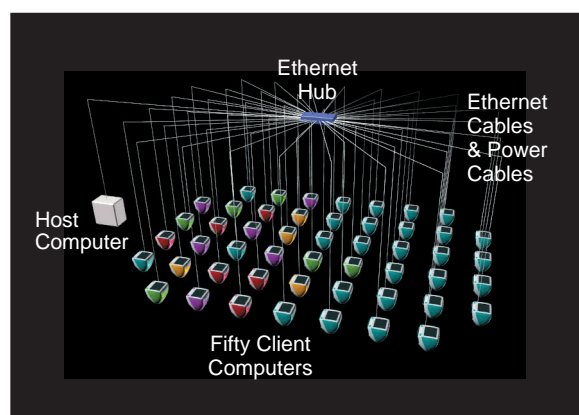


図 2 システム外観図